【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公開番号】特開2006-252535(P2006-252535A)
【公開日】平成18年9月21日(2006.9.21)
【年通号数】公開・登録公報2006-037
【出願番号】特願2006-28583(P2006-28583)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　12/00　　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　 3/06　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　12/00　　５４２Ｌ
Ｇ０６Ｆ　12/00　　５１４Ｒ
Ｇ０６Ｆ　 3/06　　３０４Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月17日(2008.10.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
上記電源検出回路は、ホスト側からの電源電圧ＶＣＣを受けて、その電源起動と遮断を検出する。この検出信号は、ゲート回路Ｇの一方の入力に供給される。このゲート回路Ｇの他方の入力にはコントロール線を通したコントロール信号が供給される。ゲート回路Ｇは、例えばナンド（ＮＡＮＤ）ゲート回路のような論理回路からなり、電源起動又は遮断に対応した信号、あるいはコントロール線から供給される制御信号に対応してスイッチＳＷの制御や後述するような不揮発性メモリと揮発性メモリとの間でのデータ転送動作の指示に用いられる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
そして、上記電源供給によって上記不揮発性メモリに対してホスト側から書き込み又は読み出しが行われる際において、データの書き込みや読み出しのために上記ファイル管理情報の読み出しや書き込みは、上記不揮発性メモリのファイル管理情報（２）が用いられるのではなく、揮発性メモリの上記シャドー情報（１）が用いられる。このとき、コントローラ部において、ホスト側から入力されるデータのアドレス（１）が（１）≦２０ｈならファイル管理情報と判定されると、揮発性メモリの上記先頭アドレスから２０ｈまでのエリアに対してメモリアクセスが行われてシャドー情報（１）の更新が行われる。